

練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園

～平成23年4月開校、大泉学園桜小学校と大泉学園桜中学校を母体校として～



《校章のコンセプト》

9つのラインは、9年間の成長していく過程を木の年輪に重ねたもので、3つの球体は、1年生～4年生・5年生～7年生・8年生～9年生へのステップと無限に広がる可能性、宇宙空間を表現しています。

大泉桜学園の標準服

【1年生～4年生】



【5年生～9年生】

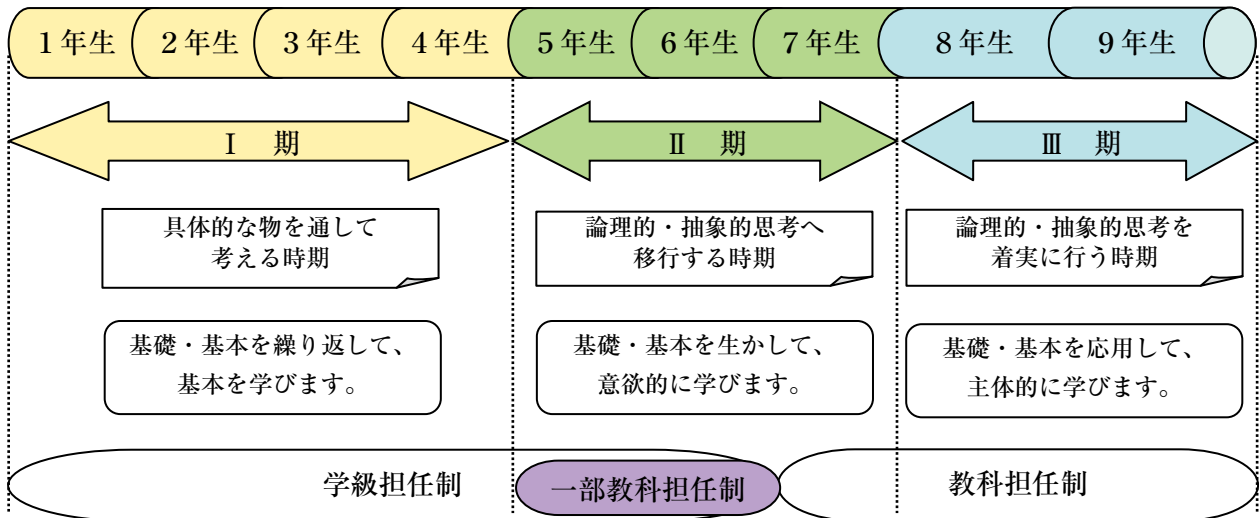


※このパンフレットは、平成22年10月1日現在の検討状況に基づくものであり、一部変更することがありますので、ご了承ください。

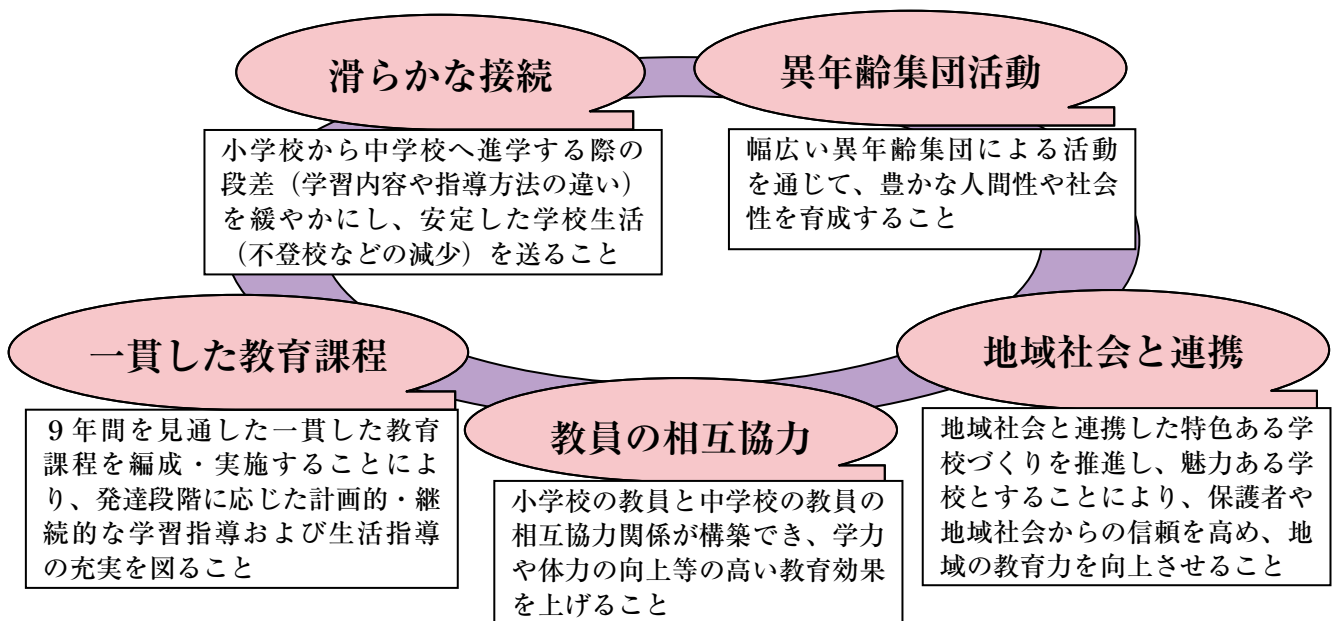


小中一貫教育校の教育

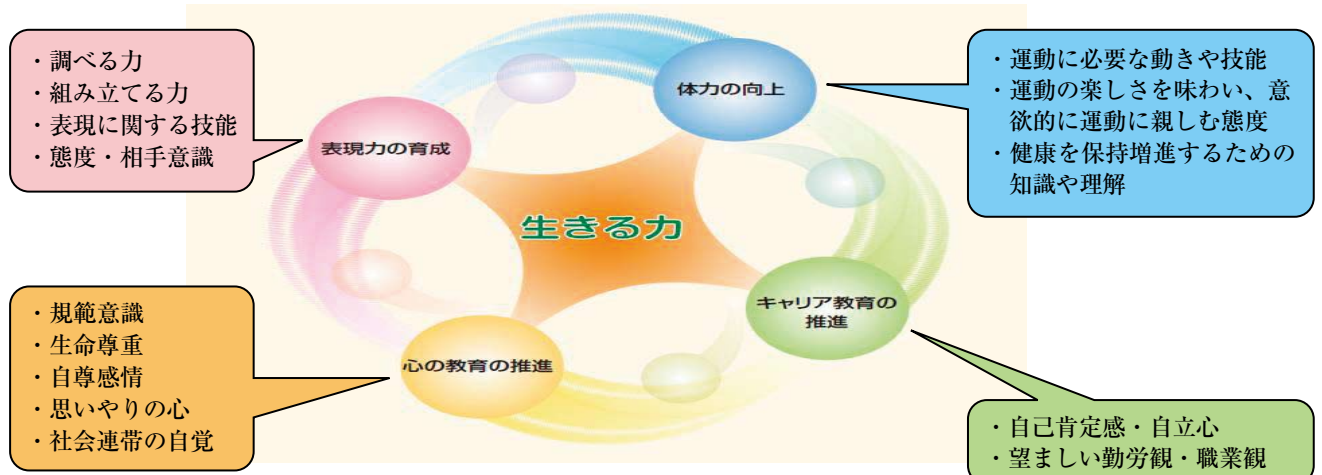
- 義務教育9年間を3期に分けて、それぞれの時期に応じた「学び」を進めます。



- 学力の向上や豊かな人間性の育成などの効果が期待できます。



- 4つの柱（表現力の育成、心の教育の推進、体力の向上、キャリア教育の推進）を重視して、義務教育9年間にわたり、児童・生徒の「生きる力」を育みます。





教育目標

桜学精神

・教育目標を実現するための三つの指針

5年生～9年生	桜の花よりも 華ある人	桜の花よりも 時機を知る人	桜の花よりも 愛される人
1年生～4年生	元 気	チャレンジ	思いやり

・三つの指針の考え方

- 第一に、華ある人とは、自分の良さを発揮して他の人と共に幸せに生きようと心がけることで成し得ることができ、元気であることが基本となる。
- 第二に、満開の桜の花は美しく、咲く時機（チャンスとタイミング）を心得ているかのようである。また、木枯らし吹く寒さの頃に、既に花のつぼみはある。苦難の時を越え、新たな大地を開拓するようなチャレンジの大切さを言う。
- 第三に、桜の木存在は人々に潤いと癒しをもたらしてくれる。自分の命の役割を自覚し自らの存在を大切にしていける児童生徒は、周囲の人々に対しても思いやりの姿勢を示せるものである。

学校経営体制等

- 校長1名・副校長3名で一元的な学校経営を行います。
- 小・中学校合同職員室により、全教職員の連絡・連携体制を整え、協力して教育活動を行います。

きめこまかな学習活動

- 言語能力を高める教育活動
我が国の伝統文化、とりわけ古典の学習を充実させる。全学年で保護者・地域と共に百人一首に取り組み、豊かな語彙力・感性を育てます。
- 外国語活動の充実
3年生から外国語活動を行います。
- 少人数指導の充実
児童・生徒の習熟度に応じた指導を行うため、少人数指導を充実させます。
- 5・6年生からの一部教科担任制による指導の充実
中学校の教科担任制へのスムーズな移行や学習内容のより一層の充実を目指し、理科と社会で教科担任制を取り入れます。
- その日の授業はその日の内に分かるまで教える学校
児童・生徒の学習のつまずきに対応し、放課後個別学習室で補習活動を充実させます。

異年齢集団活動や体験活動を重視した教育活動

- 異年齢集団活動…入学式、卒業式、始業式、終業式、運動会、桜祭（学芸発表会）、学習発表会などの複数学年合同行事を行って、豊かな人間性や社会性を育成します。
- 稲作の本物体験…学校の小さな田んぼから世界につながるグローバルな意識を育成します。

5年生から参加できる部活動

5年生～9年生

サッカー（男女）、バレーボール（女）、硬式テニス（男女）、バドミントン（男女）、剣道（男女）、ソフトボール（女）、野球（男女）、バスケットボール（男女）、吹奏楽（男女）、美術（男女）、英語（男女）

小中一貫教育校への入学等

1年生

大泉学園緑小の通学区域で大泉学園桜中の通学区域にお住まいの方
⇒小学校新入学時から入学できます（原則）

大泉学園桜小
通学区域内
居住者

大泉学園緑小
通学区域内で、
大泉学園桜中
通学区域内
居住者

7年生

通学区域外居住者も6年生から7年生に
継続通学できます（原則）

中学校選択制などにより、新たに
入学できます（原則）

主な施設改修

